### **Attracting Tomorrow**



2023年3月期

通期決算説明会

**TDK株式会社** IR・SRグループ 2023年4月28日



, **公TDK** 

目次

1

2023年3月期 連結業績概要

専務執行役員 山西 哲司

2

2024年3月期 通期業績の見通し

社長執行役員 齋藤 昇

3

補足資料



## 2023年3月期 連結業績概要

専務執行役員 山西 哲司

### 2023年3月期 通期決算のポイント





• ICT市場が低迷する中、自動車や産機等の需要を取り込み売上高・営業利益とも過去最高を更新※

#### 売上高

2兆1,808億円

前期比 14.7%增

### 営業利益

1,688億円

前期比 **1.2**%增

# ポイント

- スマートフォン、PC、タブレットの生産が期初想定を大きく下回るも、新モデル向け二次電池、センサの販売が拡大
- HDD市場の急減速により、HDDヘッド及びサスペンションの販売が減少
- xEV化、ADAS化が進み、部品搭載点数増により部品需要は堅調に推移。受動部品、センサの販売が拡大
- 再生可能エネルギー関連設備、省エネ関連設備の需要が拡大し、中型二次電池、産業機器用電源の販売が拡大
- 事業環境悪化への対応のため、第3及び第4四半期で構造改革費用を計上

<sup>※</sup> 営業利益は2017年3月期に計上の事業譲渡益を除いたベースで比較

### 2023年3月期 連結決算概要





- 売上高及び営業利益は前期比で増収増益
- •一時費用:構造改革費用で△477億円、退職金給付関連+120億円

	2022年3月期	2023年3月期	前其	<b>阴比</b>
(億円)	通期実績	通期実績	増減	増減率
売上高	19,021	21,808	+2,787	+14.7%
営業利益	1,668	1,688	+21	+1.2%
営業利益率	8.8%	7.7%	-1.1pt	-
税引前利益	1,725	1,672	△53	△3.1%
当期利益	1,313	1,142	△171	△13.0%
1株当たり利益(円)	346.44	301.19	-	-
対ドル為替レート(円)	112.33	135.46	20.6%の円安	
対ユーロ為替レート(円)	130.53	140.89	7.9%0	の円安

<sup>(</sup>注) 2022年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表から、従来の米国会計基準に替えて国際財務報告基準(IFRS)を適用しています。 当資料に記載の前連結会計年度の財務数値についても、IFRSに準拠して表示しております。

#### ■ 為替変動による影響金額

売上高 約2,922億

約2,922億円の増収

営業利益

約689億円の増益

#### ■為替感応度

(1円の変動による影響額)

ドル

売上高

110億円

営業利益

20億円

ユーロ

売上高

30億円

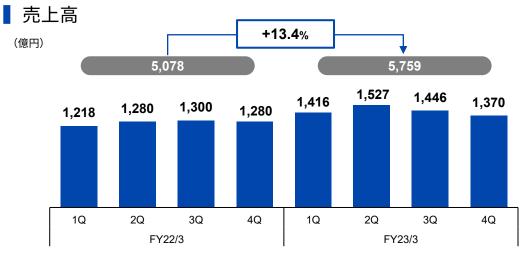
営業利益

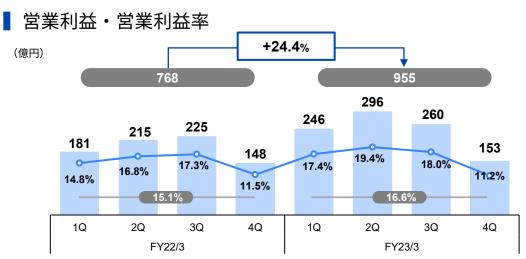
6億円





• xEV向けを中心とした自動車市場向けが好調に推移し大幅な増収増益を達成

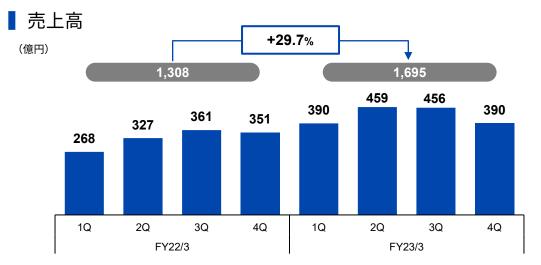


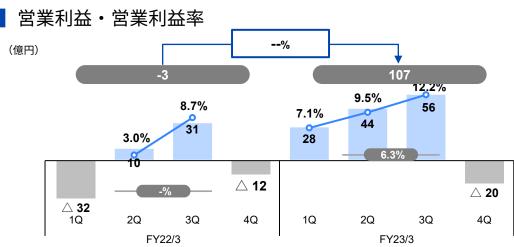






• ICT市場向けを中心に販売が好調に推移し、収益性も大幅に改善し増収増益

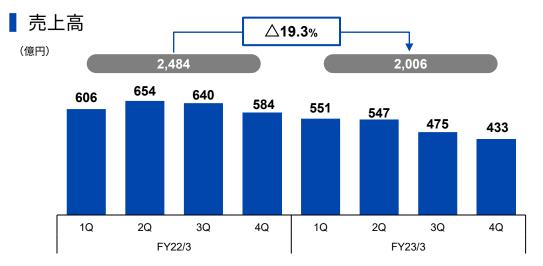


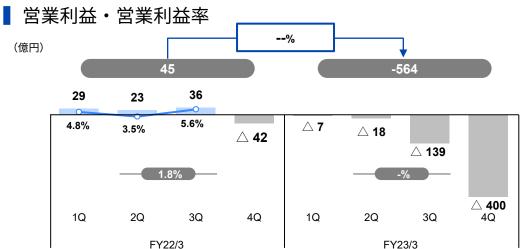


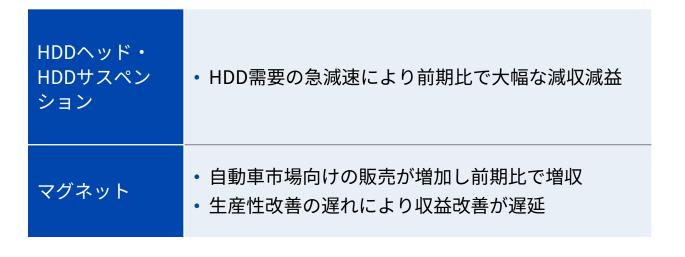
温度・圧力センサ	<ul><li>自動車市場用途及び家電向け売上が増加</li><li>構造改革費用計上もあり減益</li></ul>
磁気センサ	・前期比で増収増益 ・ホールセンサの自動車向け販売が拡大 ・TMRセンサは、ICT市場向け販売が大幅に拡大
MEMSセンサ	・スマートフォン向け売上減少も、ゲーム機、ウェア ラブル、自動車向け販売が拡大、収益も大きく改善



• HDD市場の急激な悪化の影響及び構造改革費用の計上により大幅な減収減益



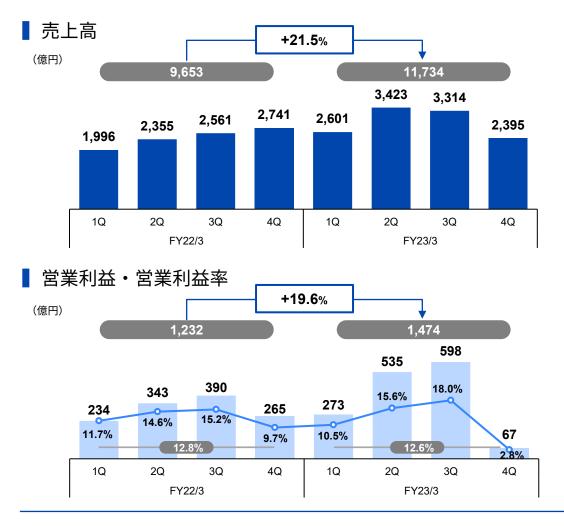


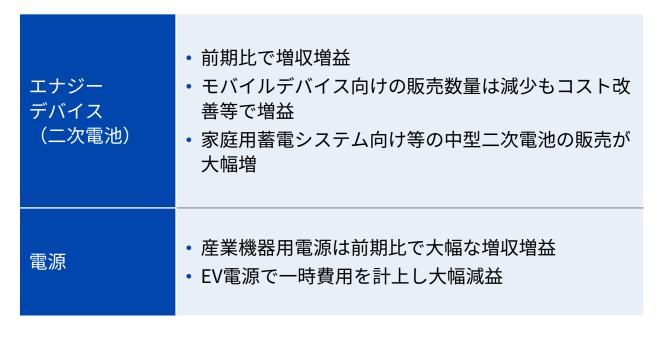






- エナジーデバイスは材料費の高騰や需要環境の悪化を価格転嫁や合理化努力で吸収
- 産業機器用電源市場が堅調に推移し、セグメントとして増収増益





### 2023年3月期 事業別四半期推移



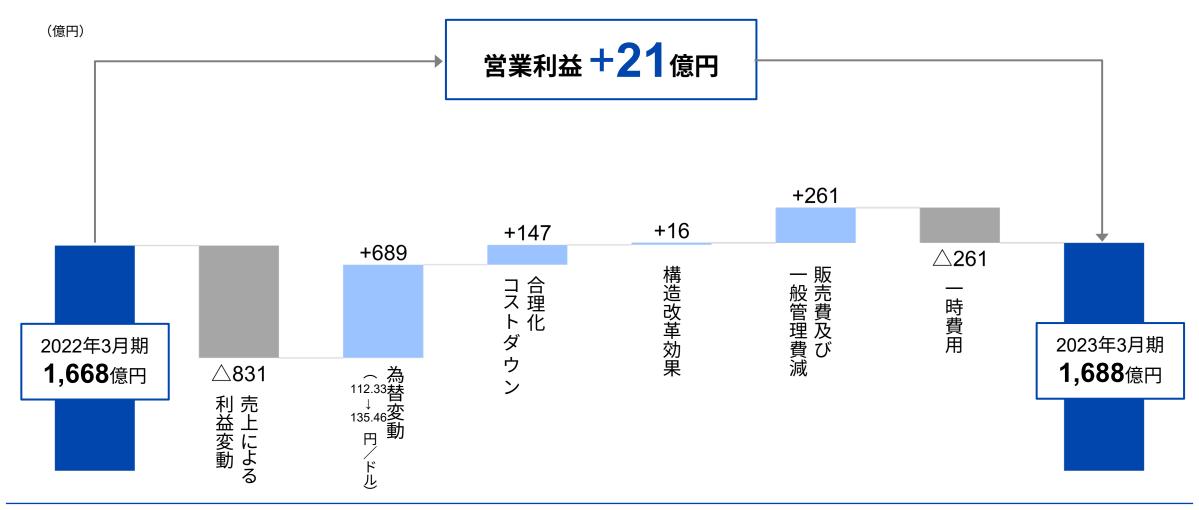
		2022年3月期	2023年3月期		前年同期比	G(C)-(A)	3Q-4Q推移(C)-(B)		
	(億円)	4Q(A)	3Q(B)	4Q(C)	増減	増減率	増減	増減率	
	コンデンサ	504	615	578	+73	+14.5%	△37	△6.1%	
	インダクティブデバイス	458	501	463	+5	+1.0%	△38	△7.6%	
	その他受動部品	318	331	330	増減       増減率       増減         +73       +14.5%         +5       +1.0%         +12       +3.7%         +90       +7.0%         +39       +11.0%         △346       △12.6%         +5       +3.8%         △364       △7.2%       △         +6       +4.0%         △8       -         △358       -         △198       △74.6%         △14       -         △571       -         +118       -         △453       -	△1	△0.4%		
売	受動部品	1,280	1,446	1,370	+90	+7.0%	△77	△5.3%	
上	センサ応用製品	351	456	390	+39	+11.0%	△67	△14.6%	
高	磁気応用製品	584	475	433	△152	△25.9%	△42	△8.8%	
	エナジー応用製品	2,741	3,314	2,395	△346	△12.6%	△919	△27.7%	
	その他	126	178	131	+5	+3.8%	△47	△26.5%	
	合計	5,083	5,870	4,719	△364	△7.2%	△1,151	△19.6%	
	受動部品	148	260	153	+6	+4.0%	△107	△41.0%	
	センサ応用製品	△ 12	56	△20	△8	-	<b>△75</b>	-	
営	磁気応用製品	△ 42	△139	△400	△358	-	△261	-	
業	エナジー応用製品	265	598	67	△198	△74.6%	△531	△88.7%	
利	その他	△ 1	9	△15	△14	-	△24	-	
益	小計	357	783	<b>△214</b>	△571	-	△997	-	
	調整	△ 103	△100	15	+118	-	+115	-	
	合計	255	684	△199	△453	-	△882	-	
営業和	J益率	5.0%	11.6%	△4.2%	-9.2pt	-	-15.8pt		
対ドル	為替レート(円)	116.14	141.75	132.40					
対ユー	-ロ為替レート(円)	130.35	144.26	141.95					

### 営業利益増減分析





・市場環境の急激な変化に合わせ477億円の構造改革費用計上も増益確保



### 2024年3月期 通期業績の見通し

社長執行役員 齋藤 昇

### 2024年3月期 連結業績見通し



	2023年3月期	2023年3月期 2024年3月期		比
(億円)	通期実績	通期予想	増減	増減率
売上高	21,808	20,200	△1,608	△7.4%
営業利益	1,688	1,900	+212	+12.5%
営業利益率	7.7%	9.4%	+1.7pt	-
税引前利益	1,672	1,880	+208	+12.4%
当期利益	1,142	1,470	+328	+28.7%
1株当たり利益(円)	301.19	387.57		
配当金(円)	106.00	116.00		
対ドル為替レート(円)	135.46	130.00	-	-
対ユーロ為替レート(円)	140.89	142.00	-	-



• xEV市場の拡大を見込む一方で、ICT市場は回復途上

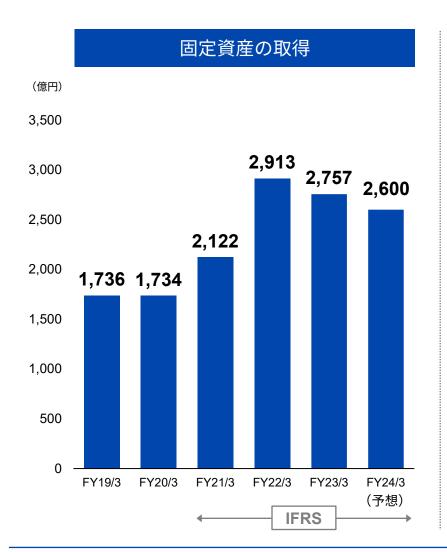
(百万台)	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期予想	前期比 増減率
自動車※	84	88	+5%
xEV	17.2	21.9	+27%
スマートフォン	1,143	1,118	△2%
5G スマートフォン	593	607	+2%
HDD	153	146	△5%
ニアライン	55	60	+9%
ノートパソコン	179	182	+2%
タブレット	153	149	△3%

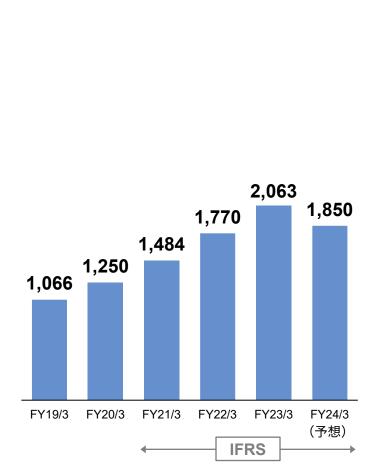
※自動車は商用車を含む台数

### 2024年3月期 各種費用見通し

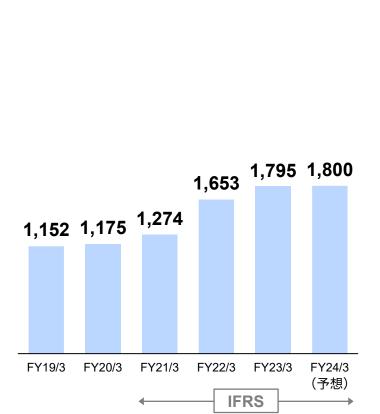


研究開発費





減価償却費

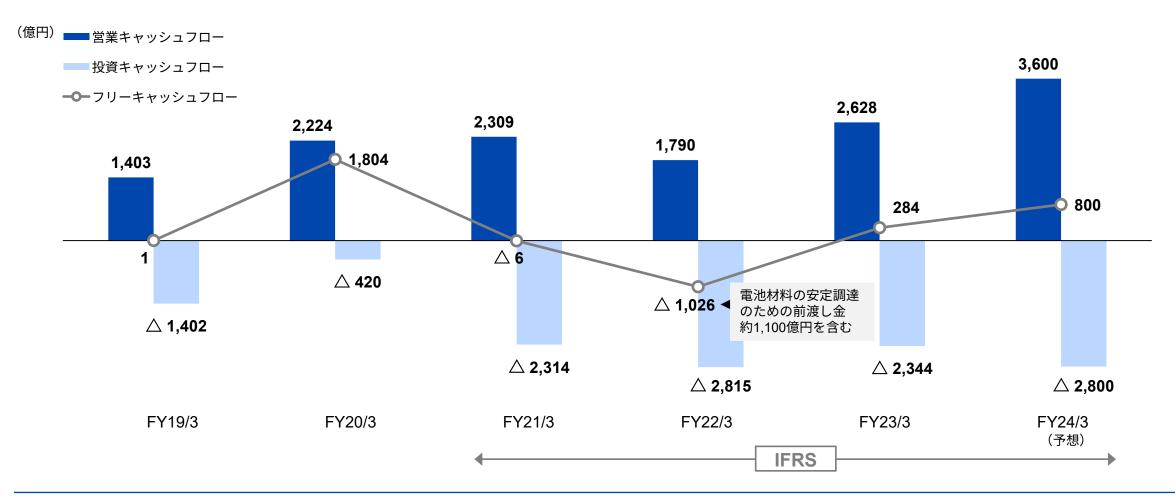


### 2024年3月期 キャッシュフロー見通し



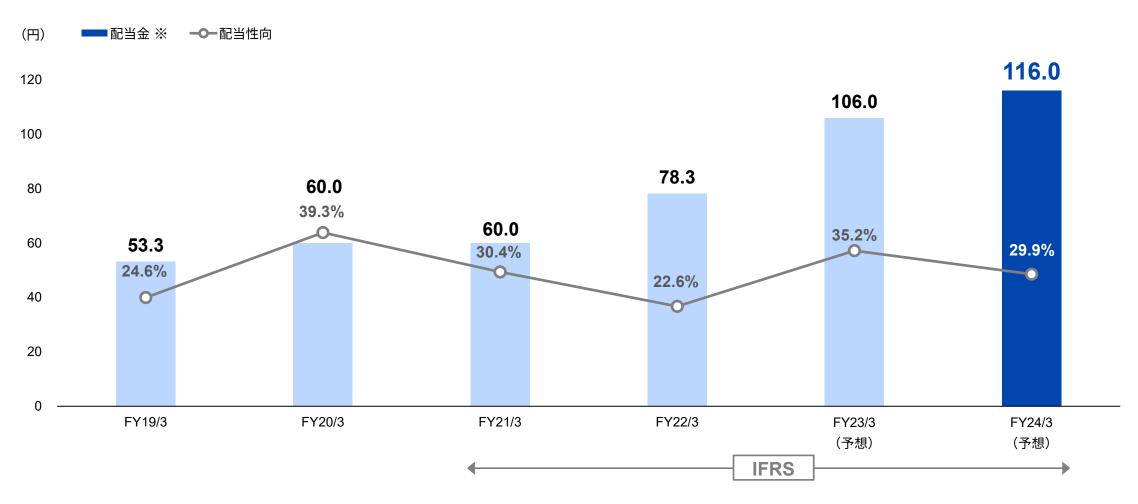


- 主に受動部品やセンサ応用製品の収益力の改善により営業キャッシュフローが増加
- ・2024年3月期はエナジー応用製品への投資減少もありフリーキャッシュフローは800億円の見通し



### 株主還元





※ 配当金は、2021年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行った換算後の金額

### 2024年3月期 セグメント別連結売上高増減イメージ

**Attracting Tomorrow** 



・エナジー応用製品を除く3セグメントで増収を予想

	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期予想(前期比)	増減要因
受動部品	5,787	+9~+12%	<ul><li>・ 車載用セラミックコンデンサ、フィルムコンデンサの販売増</li><li>・ 車載・産業機器向けインダクティブデバイスの販売増</li></ul>
センサ応用製品	1,695	+7~+10%	・ ICT用途向け磁気センサやMEMSマイクロフォンの販売増 ・ 車載向け磁気センサ、温度・圧力センサの販売増
磁気応用製品	2,006	+2~+5%	<ul><li>・ HDD生産台数は前年比△5%の見込み</li><li>・ データセンター向けHDD市場回復の遅れ</li></ul>
エナジー応用製品	11,734	△22~△19%	<ul><li>ICT関連デバイスの生産が低調に推移</li><li>二次電池の原材料価格下落に伴う売価低下</li><li>中型二次電池のJVへの移管による売上減少</li></ul>
その他	587	-	
合計	21,808	20,200	

<sup>※ 24</sup>年3月期第1四半期における組織変更により、従来「その他」に属していた一部製品を「受動部品」のコンデンサに区分変更しております。上記に伴い、23年3月度連結会計年度の数値についても変更後の区分に組替えております。



### 中期経営計画の進捗

- Value Creation 2023 -

### 中期経営計画「Value Creation 2023」進捗概況





- ・受動部品の成長、センサ応用製品の黒字化により収益源の多様化が進展
- 需要が旺盛な受動部品、TMRセンサ等への増産投資を決定
- 磁気応用製品セグメント等課題事業の再建が課題

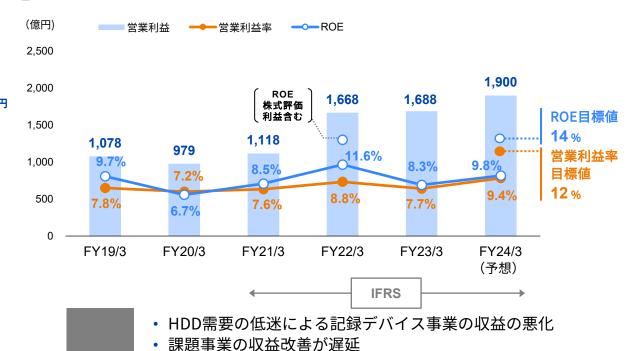
#### ▋ 売上高



- センサ応用製品の収益性改善を伴う成長
- 受動部品、TMRセンサ等への増産投資
- 中型二次電池の黒字化を前倒しで達成
- 地政学的リスクに対応するための拠点戦略を実行

#### 営業利益・営業利益率・ROE

課題



エネルギー等のコスト上昇への対応(合理化対応)

進捗

### キャピタルアロケーション計画



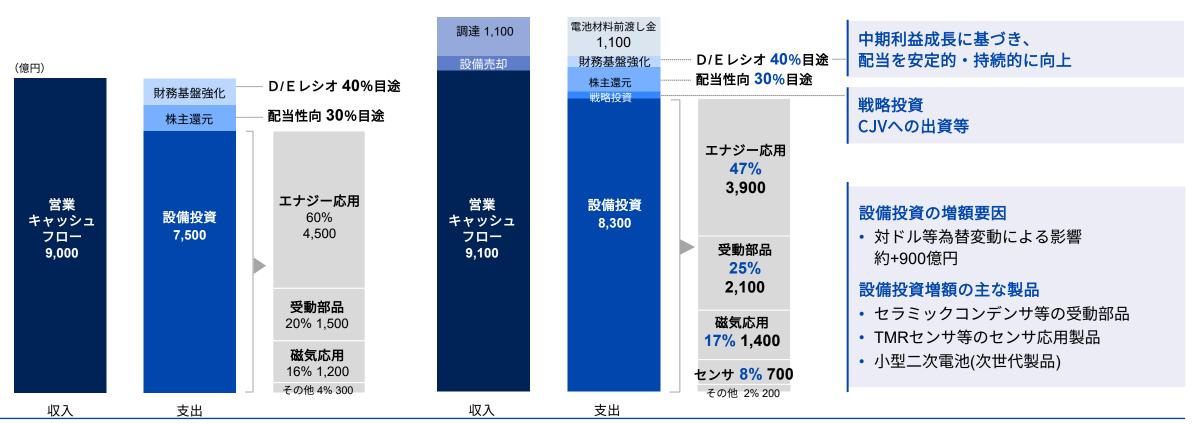


- 中型二次電池のJV開始に伴いエナジー応用製品への投資を減額
- 車載用セラミックコンデンサ等の受動部品、TMRセンサ等のセンサ応用製品向け投資を増額
- ・株主還元後フリーキャッシュフロープラスを目指す(電池材料の前渡し金約1,100億円を除くベース)

中期経営計画(2021年5月時点)

中期経営計画(2023年4月最新見込み)

(億円)

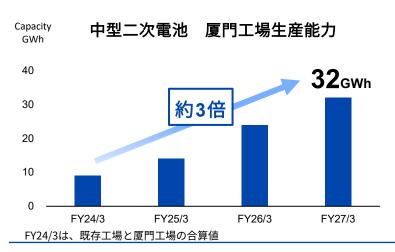


### 成長戦略:中型二次電池



- 計画通り新生産拠点での生産を開始
- 福建省・厦門市新生産拠点の稼働(2023年4月~)





#### 両社の強みを融合しGlobal No.1 ポジションを目指す

2030年に\*売上高目標 約5,000億円

\*TDK連結分

製品 ポートフォリオ



幅広い製品ポートフォリオにより多様な市場ニーズへの対応 (パウチ型・円筒・角形セル)



JVが保有する 強み



- 高エネルギー密度
- 急速充放電
- 長寿命高耐久セル
- + 4/-

• 高信頼性BMS・パック統合設計技術



• 地域性に応じた緊密な顧客サポート

- ・コスト最適化技術
- ・ 開発から大規模生産の垂直立上げ ノウハウ



徹底した安全性リスク管理と トレーサビリティ

**蓄電システム** (ESS\*)

家庭用ESS(RESS<sup>\*\*</sup>)はグローバルでトップクラスシェア獲得 「**安全・長寿命**」の強化

小型商用・産業用ESS、UPS(無停電電源装置)への展開

市場電動

電動二輪

中国市場に加え、アジア・欧州市場拡大に向けた取り組み強化 各顧客ニーズに合わせ、パウチ・円筒タイプで幅広く対応

パワー デバイス<sup>…</sup> ドローン向けは、**高出力・高エネルギー密度パウチセル**を武器にトップシェア維持 パワーツール向けは、**高出力パウチに加えて、円筒タイプ**でシェア拡大を目指す

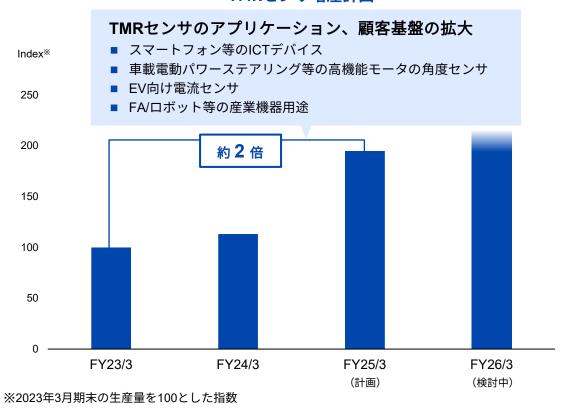
\*ESS=Energy Storage System \*\*RESS=Residential Energy Storage System \*\*\*パワーデバイス= Drone, Power Tool, Cleaner 等

### 成長戦略:センサ応用製品及び受動部品



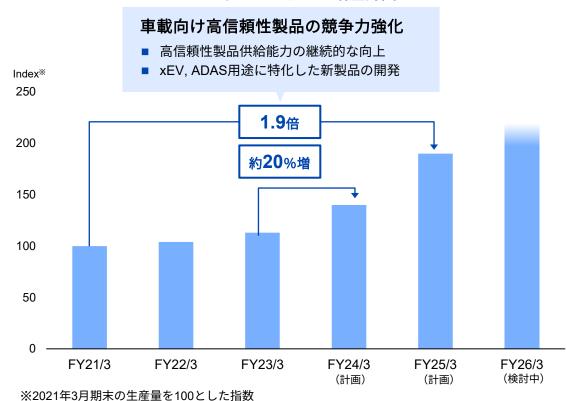
- 旺盛な需要増加が見込まれる製品への増産投資
- TMRセンサの増産計画 2025年3月期に2023年3月期比約2倍へ増産

#### TMRセンサ増産計画



■ 車載向けセラミックコンデンサの増産計画2025年3月期以降の増産投資を検討中

#### セラミックコンデンサ増産計画



### ESGへの取り組み



環境 E

#### EX

2050年 $CO_2$ ネットゼロ実現に向けたエネルギーの有効利用と再生可能エネルギーの利用拡大

サプライチェーンマネジメント

サプライチェーンにおける社会・環境配慮

### ▮主な進捗

- 2022年9月SBTiへ認定申請済
- 2022年12月RE100加盟
- 2025年のRE50%導入目標を1年前倒し、2024年中に達成見込み
  - 2023年4月1日より東北・新潟エリアの製造拠点の電力を100%再生可能 エネルギー由来へ転換
  - 2023年中に、日本国内の製造拠点全ての電力を100%再生可能エネルギー 由来へ転換

社会 S

#### 人材マネジメント

人的資本強化への取り組み



- ・従業員満足度向上に向けた施策の一環として、全世界での エンゲージメント調査実施
- TDK健康宣言を制定し、国内企業アライアンスへの参画を決定

ガバ ナンス **G** 

#### 権限委譲と内部統制の追求

エンパワーメント&トランスペアレンシー



- グローバル共通規程に基づいたグループマネジメントの浸透
- 地域本社機能の強化



# 補足資料

### 売上高·営業利益四半期推移 (2022年3月期 - 2023年3月期)





	1			2022年3月期				2	023年3月期		
	(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
	コンデンサ	471	498	508	504	1,981	576	629	615	578	2,397
	インダクティブデバイス	421	453	470	458	1,802	493	528	501	463	1,985
	その他受動部品	325	329	322	318	1,294	347	370	331	330	1,378
売	受動部品	1,218	1,280	1,300	1,280	5,078	1,416	1,527	1,446	1,370	5,759
上	センサ応用製品	268	327	361	351	1,308	390	459	456	390	1,695
高	磁気応用製品	606	654	640	584	2,484	551	547	475	433	2,006
	エナジー応用製品	1,996	2,355	2,561	2,741	9,653	2,601	3,423	3,314	2,395	11,734
	その他	113	125	133	126	497	146	159	178	131	614
	合計	4,201	4,741	4,997	5,083	19,021	5,105	6,115	5,870	4,719	21,808
	受動部品	181	215	225	148	768	246	296	260	153	955
	センサ応用製品	△ 32	10	31	△ 12	△ 3	28	44	56	△ 20	107
営	磁気応用製品	29	23	36	△ 42	45	△ 7	△ 18	△ 139	△ 400	△ 564
業	エナジー応用製品	234	343	390	265	1,232	273	535	598	67	1,474
利	その他	△ 10	△ 3	△ 1	△ 1	△ 14	4	△ 2	9	△ 15	△ 4
益	小計	402	587	681	357	2,028	544	855	783	△ 214	1,968
	調整	△ 89	△ 85	△ 84	△ 103	△ 361	△ 98	△ 98	△ 100	15	△ 280
	合計	313	503	597	255	1,668	446	757	684	△ 199	1,688
営業	利益率	7.5%	10.6%	11.9%	5.0%	8.8%	8.7%	12.4%	11.6%	△ 4.2%	7.7%
対ド	ル為替レート(円)	109.50	110.07	113.67	116.14	112.33	129.36	138.20	141.75	132.40	135.46
対ユ	ーロ為替レート(円)	131.90	129.83	130.06	130.35	130.53	137.95	139.39	144.26	141.95	140.89

### インデックスファンドへの採用状況・

#### Attracting Tomorrow

### 格付機関による評価

#### ■ インデックスファンド



#### FTSE4Good Index Series

ESGを強力に実践する企業のパフォーマンス を測定するために設計



#### S&P / JPX カーボン・エフィシェント指数

TOPIX銘柄を対象に、環境情報の開示状況、炭素効率性(売上高当たり炭素排出量)の水準に基づき、 構成銘柄のウエイトを決定



FTSE Blossom Japan

#### **FTSE Blossom Japan Index**

ESG対応の優れた日本企業のパフォーマンス を測定するために設計



#### SOMPO サステナビリティ・インデックス

SOMPOリスクマネジメント株式会社実施の「ぶなの森 環境アンケート」および「ESG経営調査」の結果に基づき構成



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

### FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

ESGの対応に優れた日本企業のパフォーマンスを 反映し、セクター・ニュートラルとなるよう設計 **2022** CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数 \*2

ESGの取り組みが優れた日本企業を選定



#### MSCI ESG Leaders Indexes\*1

ESG評価に優れた企業を選定

2022 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)\*\*3

性別多様性に優れた日本企業を選定

\*\*1,2,3 THE INCLUSION OF TDK CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF TDK CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

#### 格付

**CDP気候変動 A-**(Aマイナス)

CDP水セキュリティ対策 A (最高位、3年連続)



#### CDPサプライヤー・ エンゲージメント評価 リーダー・ボード (3年連続)

サプライヤー・エンゲージメント評価において、サプライヤー環境活動やスコープ3排出量の結果を開示していることなどで高い評価を獲得

### 貸借対照表



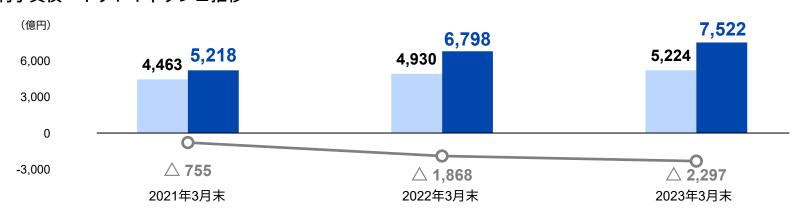


(億円)	2021年3月期 3月末	2022年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	対2022年3月期比 増減
資産合計	23,597	30,417	31,470	+1,054
負債合計	13,980	17,379	16,842	△537
親会社の所有者に帰属する持分	9,589	13,003	14,584	+1,581
親会社所有者帰属持分比率	40.6%	42.8%	46.3%	+3.5pt
現預金・ 短期投資・有価証券	4,463	4,930	5,224	+294
有利子負債※1	5,218	6,798	7,522	+723
ネットキャッシュ※2	△755	△1,868	△2,297	△430

※1: 借入金 + 社債 + リース負債

※2: 現預金・短期投資・有価証券 - 有利子負債

#### ■ 現預金・有利子負債・ネットキャッシュ推移



現預金・短期投資・有価証券

**有利子負債** 

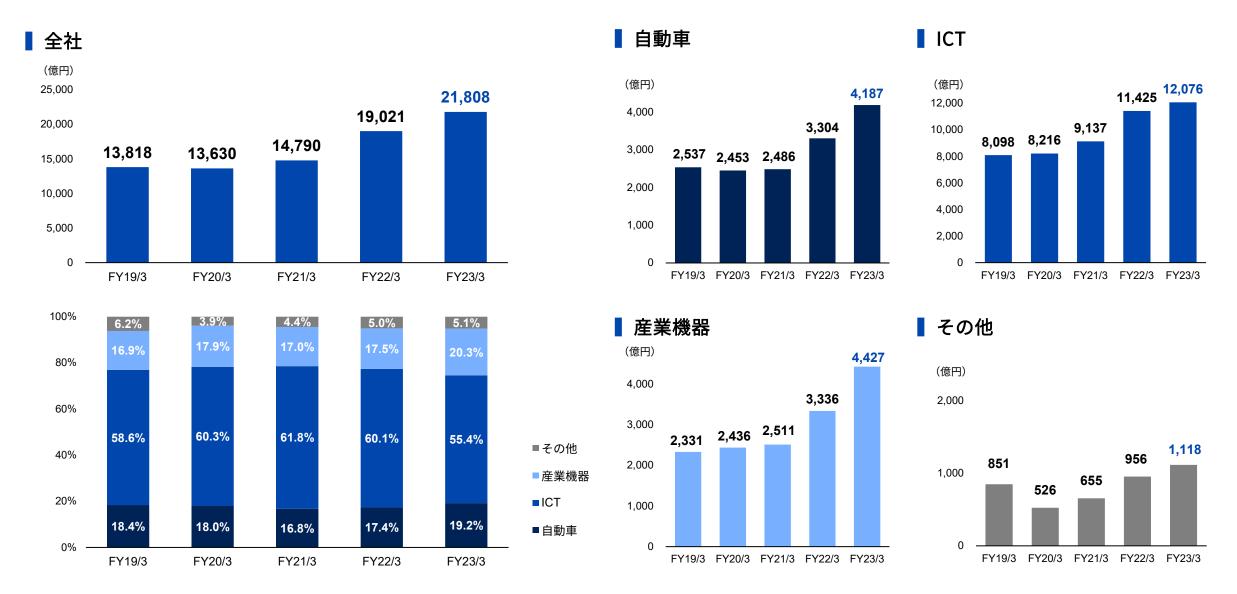
**──**ネットキャッシュ

### 市場別通期売上高推移(2019年3月期-2023年3月期)







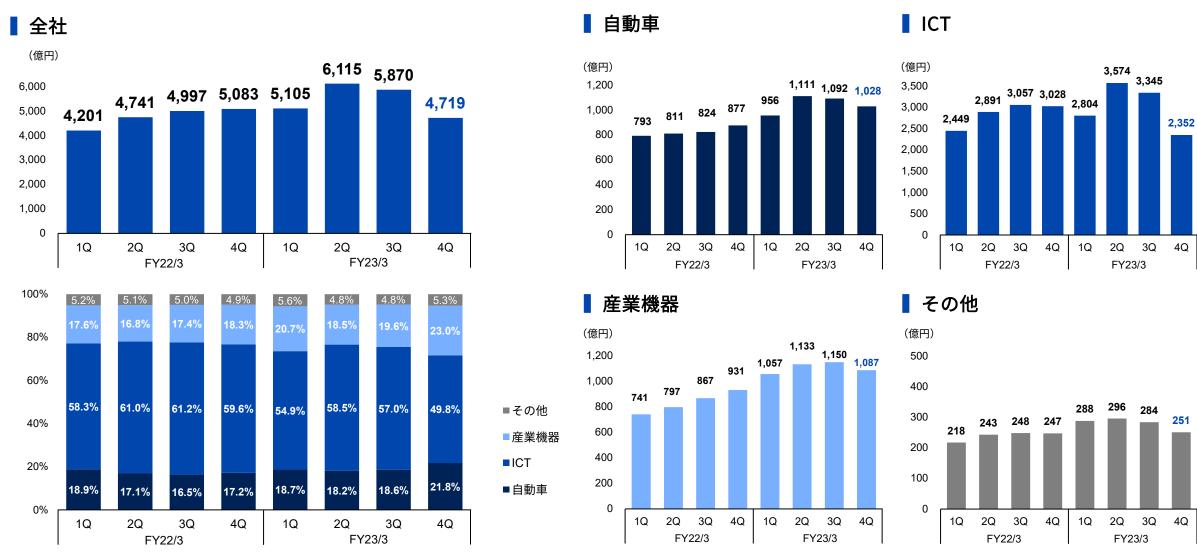


### 市場別四半期売上高推移(2022年3月期-2023年3月期)









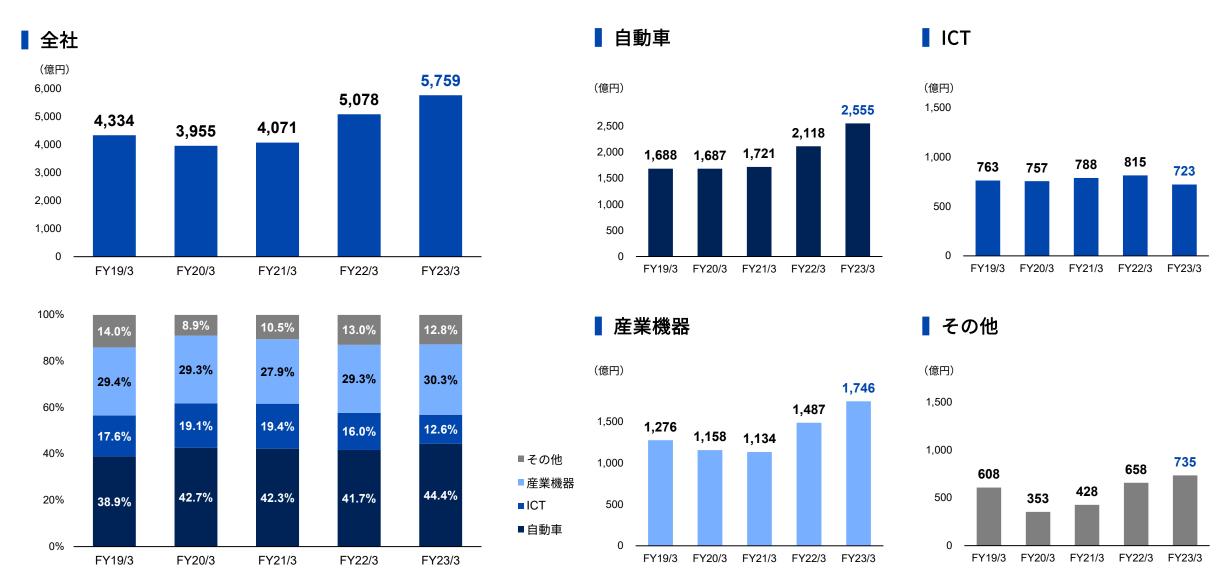
(注) 当第1四半期において市場の再定義を行い、前期の数値についても変更後の区分に組み替えております。

### 市場別通期売上高推移(2019年3月期-2023年3月期)







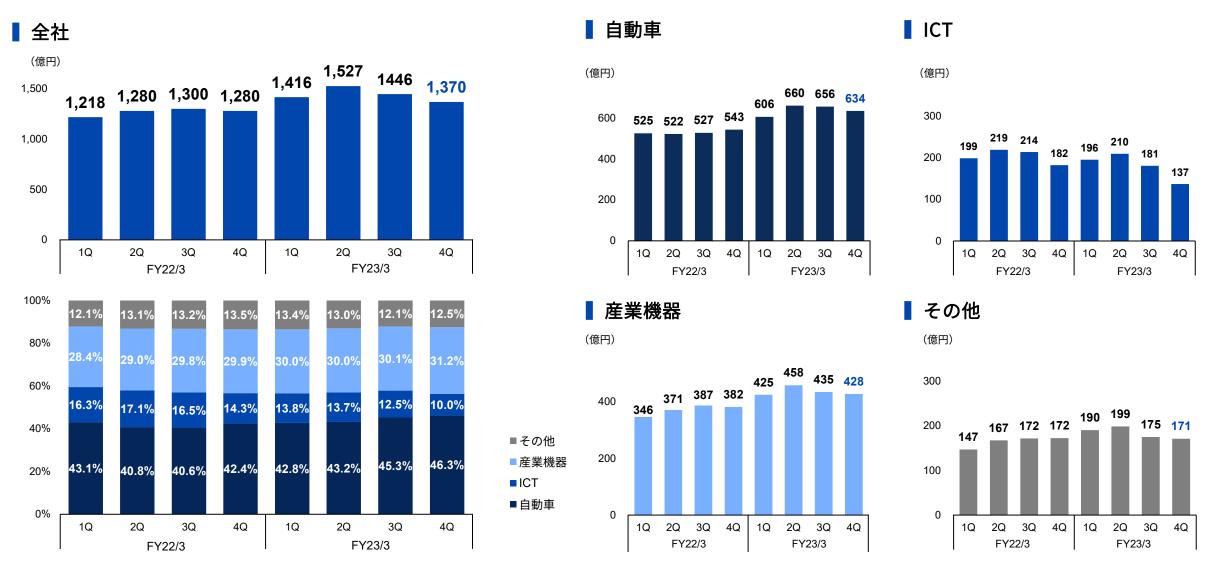


### 市場別四半期売上高推移(2022年3月期-2023年3月期)



#### **Attracting Tomorrow**





(注) 当第1四半期において市場の再定義を行い、前期の数値についても変更後の区分に組み替えております。

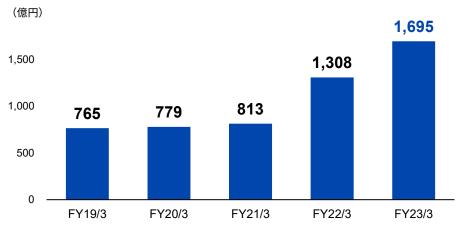
### 市場別通期売上高推移(2019年3月期-2023年3月期)

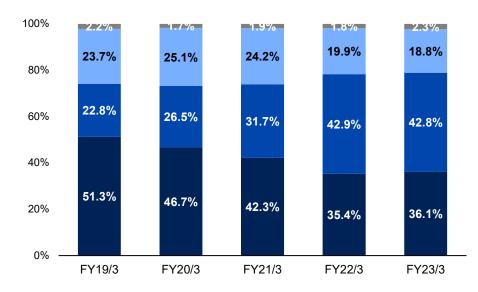


#### **Attracting Tomorrow**

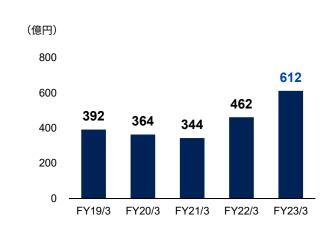




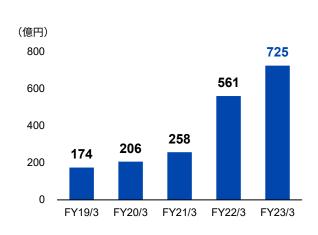




#### 自動車



#### ICT

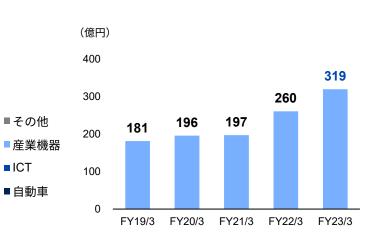


#### 産業機器

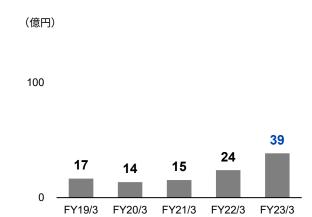
■その他

■ ICT

■自動車



#### その他

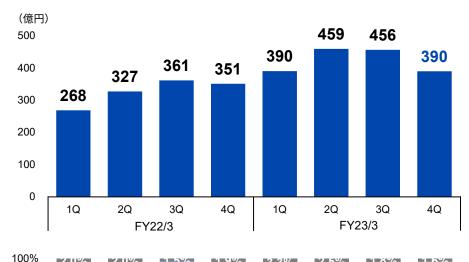


### 市場別四半期売上高推移 (2022年3月期-2023年3月期) センサ応用製品

#### **Attracting Tomorrow**







18.3%

44.1%

35.8%

4Q

22.9%

38.6%

35.1%

1Q

19.6%

46.9%

32.0%

3Q

FY22/3

20.6%

42.8%

34.6%

2Q

21.6%

36.0%

1Q

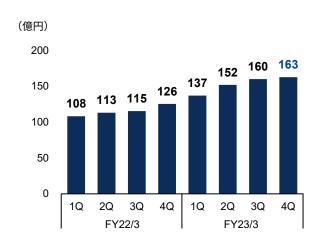
80%

60%

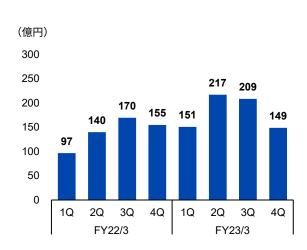
40%

20%

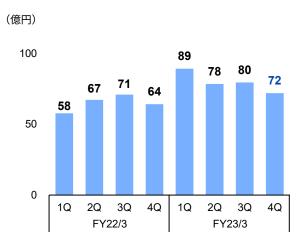
#### 自動車



ICT



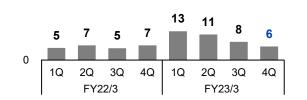
#### 産業機器



その他

(億円)

50



(注) 当第1四半期において市場の再定義を行い、前期の数値についても変更後の区分に組み替えております。

2Q

17.1%

47.3%

33.1%

18.5%

38.2%

4Q

■その他

ICT ■自動車

■産業機器

17.4%

45.7%

35.1%

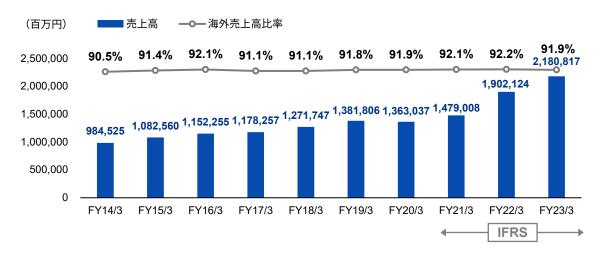
3Q

FY23/3

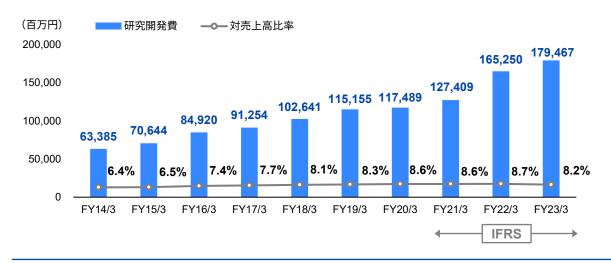
### 業績ハイライト 過去10年推移



#### ■ 売上高・海外売上高比率



#### ■研究開発費・対売上高比率



#### | 営業利益・当期利益・営業利益率



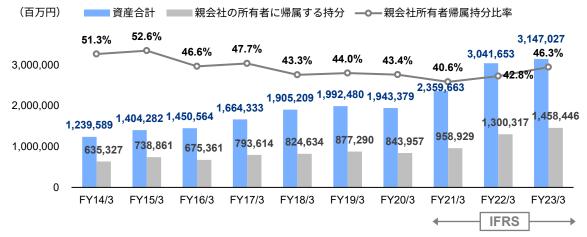
#### ▋■固定資産の取得・減価償却費



### 業績ハイライト 過去10年推移



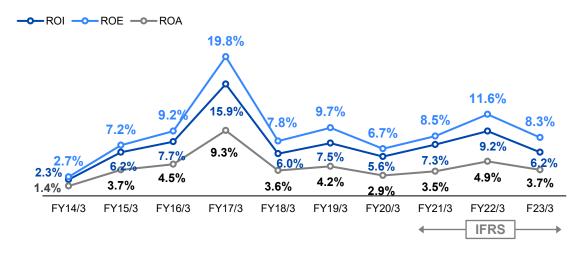
#### ■ 資産合計・親会社の所有者に帰属する持分・ 親会社所有者帰属持分比率



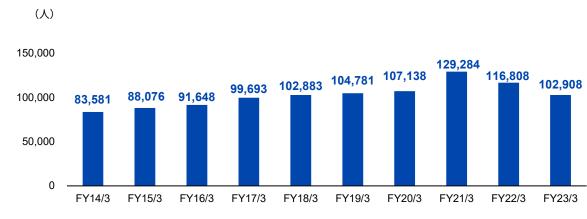
### ■ 配当金・配当性向



#### ROI • ROE • ROA



#### **位業員数**





### 将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ(以下、TDKグループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。 TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。 百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額など が1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料 を参照していただきますようお願いいたします。

